

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【公開番号】特開2006-163801(P2006-163801A)

【公開日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2006-024

【出願番号】特願2004-354146(P2004-354146)

【国際特許分類】

G 06 F 12/08 (2006.01)

【F I】

G 06 F 12/08 5 1 7 Z

G 06 F 12/08 5 5 7

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

キャッシュバッファを有し、アプリケーションプログラムからファイルシステムを通して入出力データを指示する情報記録再生装置において、

前記アプリケーションプログラム又はファイルシステムは前記キャッシュバッファ内のファイルシステムの管理情報を書き換え禁止に設定する手段を有することを特徴とする情報記録再生装置。

【請求項2】

前記キャッシュバッファはECCブロック単位で制御され、前記書き換え禁止はECCブロック単位で設定することを特徴とする請求項1に記載の情報記録再生装置。

【請求項3】

前記入出力データは、ECCブロックサイズよりも小さいことを特徴とする請求項1に記載の情報記録再生装置。

【請求項4】

情報記録再生方法において、

記録媒体から読み出されたファイルシステムの管理情報をキャッシュバッファに蓄積する工程と、

前記キャッシュバッファに蓄積された前記管理情報を上書き禁止に設定する工程とを有することを特徴とする情報記録再生方法。

【請求項5】

前記キャッシュバッファのメモリ領域は、ECCブロックサイズ単位で管理され、前記上書き禁止の設定はECCブロックサイズ単位で行われることを特徴とする請求項4に記載の情報記録再生方法。

【請求項6】

前記キャッシュバッファにおいて前記上書き禁止に設定された管理情報をアプリケーションの指示に基づいて更新する工程と、

前記更新された管理情報を前記記録媒体に記録する工程とを有することを特徴とする請求項4に記載の情報記録再生方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】情報記録再生装置及び方法

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、光ディスク等の記録媒体に情報を記録或いは再生する情報記録再生装置及び方法、特に、カムコーダやDVDレコーダ等に用いられる情報記録再生装置に好適なキャッシュバッファ制御技術に関するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明の目的は、情報記録媒体へのアクセスを極力減らし、読み書き時間を短縮することが可能な情報記録再生装置及び方法を提供することにある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明の情報記録再生装置は、上記目的を達成するため、キャッシュバッファを有し、アプリケーションプログラムからファイルシステムを通して入出力データを指示する情報記録再生装置において、前記アプリケーションプログラム又はファイルシステムは前記キャッシュバッファ内のファイルシステムの管理情報を書き換え禁止に設定する手段を有することを特徴とする。

また、本発明の情報記録再生方法は、情報記録再生方法において、記録媒体から読み出されたファイルシステムの管理情報をキャッシュバッファに蓄積する工程と、前記キャッシュバッファに蓄積された前記管理情報を上書き禁止に設定する工程とを有することを特徴とする。